

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	1070-2	(H.24)No.	1070-2
-----------	--------	-----------	--------

事務事業名		医療体制推進費(病院群輪番制病院運営事業負担金関係)		
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先	
健康福祉部	地域医療体制担当/地域医療室	岩名静枝/富岡憲子	63-7579	
新・継	事業期間	根拠法令等		
継続	平成 23 年度 ~ 平成 25 年度	病院群輪番制病院運営事業に関する協定 等		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	1	互いに認めあい支えあう、健康で安心できる暮らし
	基本政策	4	健康長寿のまちづくり
	施策	2	地域医療
	小施策	2	救急医療体制の充実
	重点施策コード	1-1.安心できる医療体制の整備(地域医療体制の整備)	

2. 予算区分

会計区分	事業コード	250505
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款	衛生費	保健衛生総務費
項	保健衛生費	(小事業名)
目	保健衛生総務費	病院群輪番制病院運営事業負担金

3. 事務事業の概要

事業概要	
<p>伊賀地域の二次救急医療に対応するため、名張市立病院・上野総合市民病院・岡波総合病院が救急輪番体制を整備するにあたり、必要な運営経費の補助を行う。加えて、岡波総合病院に対しては、民間病院救急医療体制整備にかかる補助を行う。</p> <p>なお、補助金の交付事務局を平成23～25年度まで伊賀市が担当し、同市で補助した経費を人口割合に応じ、名張市において負担する。</p>	

めざす効果(事業目的)
<p>伊賀地域内において、二次救急患者の受入れ体制を確保することにより、地域で安心できる医療体制の整備を図る。</p>

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成23年度 (実績・決算見込)	平成24年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)			
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理	
主な事業の実績・計画	<p>総事業費 24,592千円 病院群輪番制病院運営事業 (@63,000円×488コマ)×(82,358人/182,084人)=13,905,749円 民間病院救急医療体制整備事業 10,685,770円 (単独実施@189,000円×97コマ)×(82,358人/182,084人)=8,292,158円 (2病院実施@94,500円×56コマ)×(82,358人/182,084人)=2,393,612円</p>	<p>総事業費 25,448千円 病院群輪番制病院運営事業 (@63,000円×485コマ)×(82,600人/182,000人)=13,867,269円 民間病院救急医療体制整備事業11,579,885円 (単独実施@189,000円×108コマ)×(82,600人/182,000人)=9,263,908円 (2病院実施@94,500円×54コマ)×(82,600人/182,000人)=2,315,977円</p>	補助金・交付金	その他 ()		
			平成25年度(計画)	平成26年度(計画)	平成27年度(計画)	
		平成24年度と同様に実施予定	「病院群輪番制病院運営事業補助金」として実施	「病院群輪番制病院運営事業補助金」として実施		
直接事業費	24,796千円	25,448千円	25,448千円	25,448千円	25,448千円	
財源内訳(千円)	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他(分担金)					
	一般財源	(0) 24,796	25,448	25,448	25,448	25,448
人工数	職員	0.10人	0.10人	0.10人	0.10人	0.10人
	臨時職員等					
概算人件費	(0千円) (730千円)	730千円	730千円	730千円	730千円	
+ 総事業費	(0千円) 25,526千円	26,178千円	26,178千円	26,178千円	26,178千円	

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成23年度の()内の数値は、22年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計及び組合会計の一般財源欄には当該会計上の一般財源を、企業会計の一般財源欄には一般会計繰入金金を記載しています。平成25年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	3病院輪番制受診者数	-	-	-	-	-
	実績		7,230	6,666	6,836	6,888	
成果指標	目標	地域医療体制に満足している市民の割合	-	-	-	-	31.0
	実績		29.4	32.5	33.6	41.2	
	目標						
	実績						

6. 考察(前年度の評価)及び今後の対応方針

考察(前年度の評価-各指標等)	今後の対応方針
医師不足の状況が改善されない中、平成23年7月から岡波総合病院が独自の輪番体制をとることになったが、公立2病院の連携とサポート体制の強化により、空白なく休日・夜間の二次救急医療体制を確保することができた。	寄附講座等により、3病院の常勤医師が徐々に増加してきたが、3病院だけで伊賀地域全体の二次救急医療に対応できるまでには至っていないため、引き続き医師確保に努めるとともに、県内、県外の医療機関との連携、サポート体制も継続して強化する。

7. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・議会・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
高齢化の進展により、今後益々医療ニーズが増大することが予想される。また、津市太郎生地区や曾爾・御杖・山添村から二次救急医療患者の受入を求める要望が寄せられており、近隣地域との医療連携を深めるためにも、医療体制を強化する必要がある。	平成23年度に実施した市民意識調査における自由意見では総件数686件中124件(18%)が地域医療に関するもので、特に二次救急医療の充実を求める意見が多く寄せられた。

8. 担当室による点検[事務事業をより良く(最適化)するために]

点検項目	具体的内容(選択肢・の場合) (4)はの場合
(1) 現在の事業費内で、更に効果を高める方法や工夫等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない 検討余地がある	名張市立病院の常勤医師が平成24年4、5月で5名増加することから、市立病院の輪番日を増やすことにより、二次救急医療の受け入れ体制が改善され、名張市民の安心・安全を確保する。
(2) 効果・効率性の観点から他の事務事業と連携・統合を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(3) 新たな財源確保や受益者負担の見直し等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(4) 事業に関する地域ビジョン(地区別計画含む)はあるか [選択肢] ある ない ある	桔梗が丘地区基本施策「生きがい・健康」小施策「医療機関の確保」市立病院の機能強化
(5) 事業に地域ビジョンの内容を反映しているか(反映するか) [選択肢] 反映済み 反映を予定 反映予定なし(該当しない) 反映済み	市立病院における常勤医師が増員となり、二次救急医療の受入体制が強化された。
(6) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	

9. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(事務改善) 継続(現行) 継続(拡大) 休止・廃止検討 事業完了(完了予定含む) 継続(事務改善)
「継続(現行)」の場合のみ理由を記載

特記事項